

三菱UFJ システムバリューオープン

愛称：プロフェッサー

追加型投信／国内／株式

作成対象期間：2022年3月16日～2023年3月15日

第 22 期 決算日：2023年3月15日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、わが国の株式を実質的な主要投資対象とし、
株価が本来あるべき価格（理論株価）に対して割安と判断され
る銘柄のなかで、個別銘柄毎の業績の方向性も考慮し、業
績トレンドが安定的に推移すると想定する割安銘柄に投資を
行い、ベンチマークであるTOPIX（東証株価指数）を上
回る投資成果を獲得すべく、運用を行っております。ここに
運用状況をご報告申し上げます。
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運
用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第22期末（2023年3月15日）

基準価額	14,632円
純資産総額	7,279百万円
騰落率	+11.7%
分配金合計 ^(*)	100円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率
で表示しています。

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、
以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、
販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufig.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufig.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

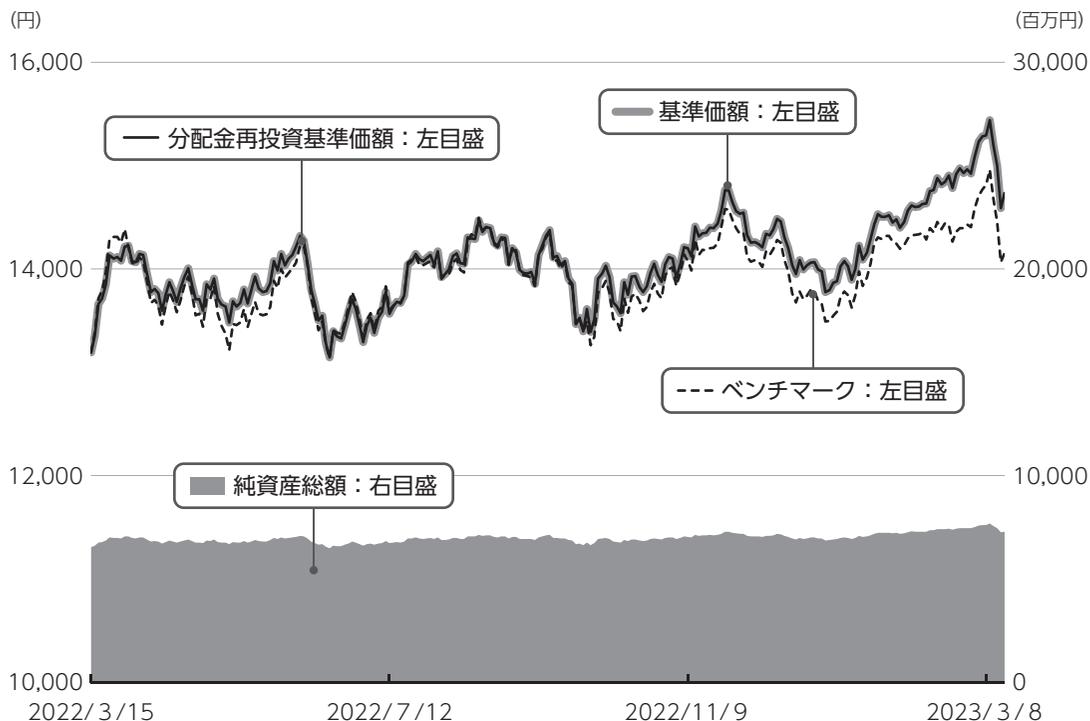
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社に
お尋ねください。

運用経過

第22期：2022年3月16日～2023年3月15日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第22期首	13,193円
第22期末	14,632円
既払分配金	100円
騰落率	11.7%
(分配金再投資ベース)	

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ11.7%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（7.3%）を4.4%上回りました。

基準価額の主な変動要因**上昇要因**

商品市況が落ち着きを見せインフレへの過度な警戒感が一服したことや堅調な国内企業の決算などを背景に国内株式市況が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

世界的なインフレ動向への警戒や米国景気の先行き不透明感などから国内株式市況が一時的に下落したことが、一時的な基準価額の下落要因となりました。

銘柄要因

上位5銘柄・・・三井住友フィナンシャルグループ、みずほフィナンシャルグループ、日本たばこ産業、キヤノン、信越化学工業

下位5銘柄・・・リクルートホールディングス、カカクコム、東京エレクトロン、デジタルアーツ、バリューコマース

※ベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標）は、TOPIX（東証株価指数）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※ベンチマークは、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2022年3月16日～2023年3月15日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	232	1.650	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(108)	(0.770)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(108)	(0.770)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(15)	(0.110)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.001	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(0)	(0.001)	
(c) その他費用	0	0.003	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	232	1.654	

期中の平均基準価額は、14,086円です。

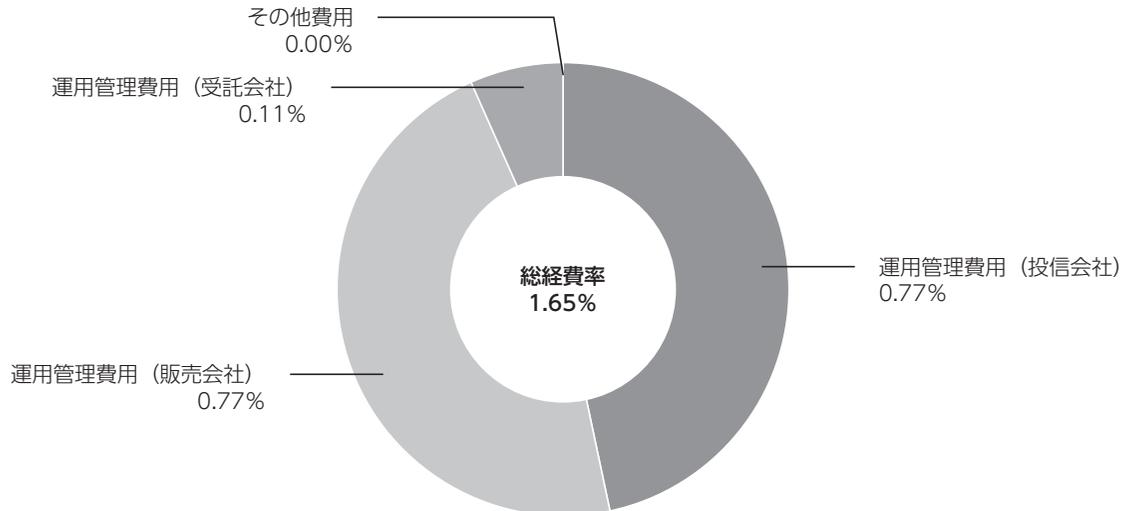
- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

- (注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.65%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2018年3月15日～2023年3月15日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額、ベンチマークは、2018年3月15日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2018/3/15 期初	2019/3/15 決算日	2020/3/16 決算日	2021/3/15 決算日	2022/3/15 決算日	2023/3/15 決算日
基準価額 (円)	14,030	12,775	9,572	13,704	13,193	14,632
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	100	0	100
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	-8.9	-25.1	44.2	-3.7	11.7
ベンチマーク騰落率 (%)	—	-8.1	-22.9	59.2	-7.2	7.3
純資産総額 (百万円)	6,773	6,489	4,734	6,780	6,530	7,279

※ファンド年間騰落率は、ベンチマーク年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

ベンチマークは、TOPIX（東証株価指数）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

投資環境について

国内株式市況

国内株式市況は上昇しました。

期間の初めから2022年8月中旬にかけて、新型コロナウイルスのワクチン接種普及などによる経済正常化への期待や、インフレへの過度な警戒感が一服したこと、堅調な国内企業の決算などを背景に国内株式市況は上昇基調で推移しました。

8月下旬から期間末にかけては、米国のインフレ動向や金融政策の見通し、グローバルでの景況感に大きく左右され、国内株式市況は上昇下落を繰り返しつつ下値を切り上げる展開となりましたが、2023年3月に米国での銀行破綻に伴うセンチメント悪化から下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

三菱UFJシステムバリューオープン

三菱UFJシステムバリューマザーファンド受益証券を通じてわが国の株式に実質的に投資しています。マザーファンドの組入比率は95%以上の水準を維持しました。

価に対する割安度の測定については、三菱UFJ信託銀行と本社グループの投資理論研究機関「MTEC」（三菱UFJトラスト投資工学研究所）が共同開発した「理論株価モデル」を活用しております。組入銘柄数は、概ね75から135銘柄程度で推移させました。割安度や資金余力などを勘案し、成長に向けた投資が十分可能であると想定した銘柄群のなかで、より割安と判断した「ソフトバンク」、「信越化学工業」、「キリンホールディングス」などを新規で組み入れた一方、割安度や資金余力の低下から「日本電信電話」、「キヤノン」、「パナソニック」などを全株売却するなどの銘柄入替を行いました。その結果、期間の初め・期間末の比較では24銘柄を新規に組み入れ、84銘柄を全株売却しています。

三菱UFJシステムバリューマザーファンド

銘柄選択にあたっては、株価が本来あるべき価格（理論株価）に対して割安であることに加えて、資金余力から鑑みて成長に向けた投資が十分可能であることや株主還元積極的にという観点から投資を行いました。また、業種構成や企業規模構成などの要素についてはベンチマークと過度にカイ離さないように、ポートフォリオを構築しました。

なお、個別銘柄の理論株価および理論株

当該投資信託のベンチマークとの差異について

三菱UFJシステムバリューオープン

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（7.3%）

を4.4%上回りました。

主な差異要因は以下の通りです。

マザーファンド保有以外の要因

信託報酬等のコストがマイナス要因となりました。

マザーファンド保有による要因

主なプラス要因

業種配分要因：ベンチマークに対して鉄鋼業、銀行業をオーバーウェイトとしていたことがプラスに寄与しました。

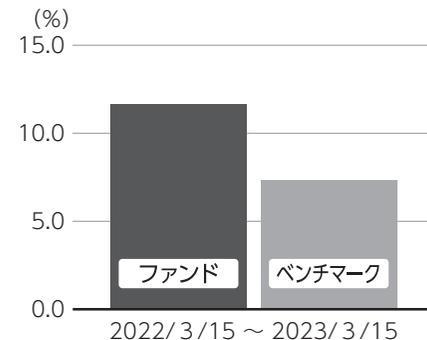
銘柄選択要因：ベンチマークに対して三井住友ファイナンシャルグループ、信越化学工業をオーバーウェイトとしていたことがプラスに寄与しました。

主なマイナス要因

業種配分要因：ベンチマークに対してサービス業をオーバーウェイト、卸売業をアンダーウェイトとしていたことがマイナスに影響しました。

銘柄選択要因：ベンチマークに対してカカクコムをオーバーウェイト、第一三共をアンダーウェイトとしていたことがマイナスに影響しました。

基準価額（ベビーファンド）と ベンチマークの対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第22期
	2022年3月16日～2023年3月15日
当期分配金（対基準価額比率）	100 (0.679%)
当期の収益	100
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	10,149

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶三菱UFJシステムバリューオープン

三菱UFJシステムバリューマザーファンド受益証券の組入比率は、引き続き高水準を維持する方針です。

▶三菱UFJシステムバリューマザーファンド

理論株価モデルにより測定される割安度が高い銘柄を高位に保有し、業種構成や企業規模構成などの要素についてはベンチマークと過度にカイ離しないようにポートフォリオを構築します。なお、ポートフォリオの構築に際しては、割安度に加えて、資金余力から鑑みて成長に向けた投資が十分可能であることと、株

主還元に積極的という観点から投資を行うことで、ベンチマークを上回る投資成果をめざします。

採用している割安度は、財務データおよび業績予想データ、さらに現在の株価水準から総合的に算出します。

したがって、業績予想が大きく変化した場合および個別銘柄ベースでの株価水準が大きく変化した場合には、割安度を再算出し、その結果としてファンド全体の割安度に大きく変化が生じた際には、割安度を維持するために銘柄入替を行う方針です。また、個別銘柄毎の資金余力などに変動が生じた際にも銘柄入替を行う方針です。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

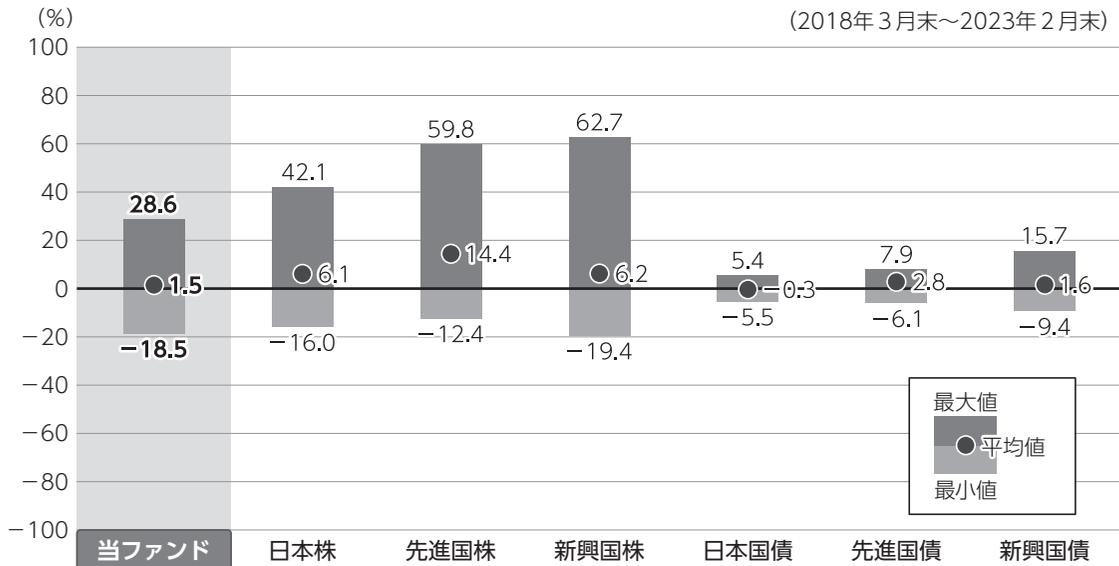
- ・該当事項はありません。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufig.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	無期限（2001年3月30日設定）
運用方針	主として、三菱UFJ システムバリューマザーファンド受益証券への投資を通じて、わが国の株式を対象に、本来あるべき価格（理論株価）に対する割安度に着目した銘柄選定を行います。TOPIX（東証株価指数）をベンチマークとして、これを中長期的に上回る投資成果をめざします。
主要投資対象	<p>■当ファンド</p> <p>三菱UFJ システムバリューマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、わが国の株式に直接投資することがあります。</p> <p>■三菱UFJ システムバリューマザーファンド</p> <p>わが国の株式を主要投資対象とします。</p>
運用方法	わが国の株式を実質的な主要投資対象とし、理論株価に対する割安度に着目した銘柄選定を行うことにより、TOPIX（東証株価指数）を中長期的に上回る投資成果をめざします。
分配方針	毎年1回決算（原則として3月15日。ただし、3月15日が休業日の場合は翌営業日とします。）を行い、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行う方針です。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2018年3月から2023年2月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2023年3月15日現在

▶ 当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第22期末 2023年3月15日
三菱UFJシステムバリューマザーファンド	99.7%

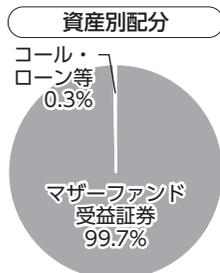
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

純資産等

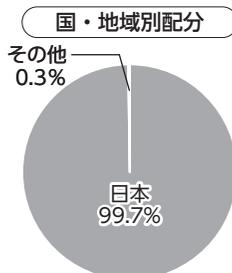
項目	第22期末 2023年3月15日
純資産総額 (円)	7,279,165,674
受益権口数 (口)	4,974,830,755
1万口当たり基準価額 (円)	14,632

※当期中において追加設定元本は605,463,394円
同解約元本は 580,694,103円です。

種別構成等

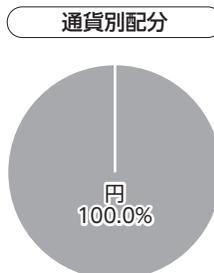


※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類していません。



※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。



591601

2023年3月15日現在

組入上位ファンドの概要

三菱UFJシステムバリューマザーファンド

基準価額の推移

2022年3月15日～2023年3月15日



1万口当たりの費用明細

2022年3月16日～2023年3月15日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a) 売買委託手数料 (株 式)	0 (0)	0.001 (0.001)
合計	0	0.001

期中の平均基準価額は、24,414円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：75銘柄)

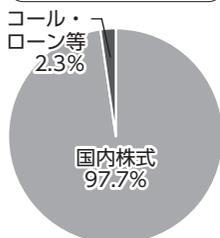
銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1 ソフトバンク	株式	日本	情報・通信業	4.1
2 日本たばこ産業	株式	日本	食料品	3.9
3 本田技研工業	株式	日本	輸送用機器	3.8
4 三井住友フィナンシャルグループ	株式	日本	銀行業	3.8
5 信越化学工業	株式	日本	化学	3.8
6 HOYA	株式	日本	精密機器	3.4
7 東京エレクトロン	株式	日本	電気機器	3.0
8 キリンホールディングス	株式	日本	食料品	2.7
9 商船三井	株式	日本	海運業	2.7
10 日本郵船	株式	日本	海運業	2.7

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
 ※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

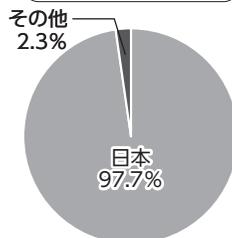
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

種別構成等

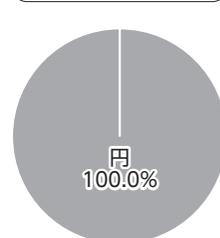
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
 構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
 ※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ ファンドのベンチマークである『TOPIX（東証株価指数）』について

TOPIX（東証株価指数）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信